



2026 年 9 月 29 日

JWEA と JWPA が連携協力に関する協定を締結
～産学連携を強化、まずは次世代の人材育成から～

一般社団法人日本風力エネルギー学会（JWEA）（東京都、会長：永尾 徹）は、一般社団法人日本風力発電協会（JWPA）（東京都、代表理事：秋吉 優）と、2026 年 9 月 29 日、連携協力に関する協定書を締結しました。

我が国の風力発電分野では、産業界と学术界が連携して取り組むべき課題が増えてきており、産学連携の重要性がますます高まっています。本協定は、科学技術の振興と普及を目的とする JWEA と、産業界を牽引する JWPA が、それぞれの知見やネットワークを生かして連携を強化し、次世代を担う人材の育成や風力発電産業の振興と技術の発展に寄与することを目的とするものです。

本協定に基づき、両団体は、双方の合意のもと、具体的な連携の第一歩として、まずは次世代の人材育成、及び教育プログラムに関する分野からの協力を進めていきます。また、風力発電に係る課題の共有や普及啓発を目的とした活動に関しても相互協力に努めてまいります。

JWEA 永尾会長は、次のように述べています。

「JWEA の目標の一つに、風力エネルギーの利用に貢献する人材の育成があります。これまで、風力に興味を持つ若い方や風力を学ぶ学生に対して、学びの機会を準備・提供してきましたが、近年、そのような学生から、風力分野のキャリアパスが見えにくいので、風力の研究や仕事に関する情報が欲しい、風力の現場に触れることのできる制度を利用したい、などの希望が多く寄せられるようになりました。風力産業界を代表する JWPA と協力し、このような機会をさらに増やすことができれば、大変うれしく思います。」

JWPA の秋吉代表理事は、次のように述べています。

「JWEA は、JWPA に先立って設立され、長年にわたり世界の最先端の情報や知見を集積するとともに、日本の風力発電の発展に多大なる貢献をされてきました。これまでも両団体は、主に国際活動を通じて連携してまいりましたが、このたび、改めて協定書を取り交わし、連携を一層深められることを大変うれしく思います。風力発電産業の持続的な発展には、次世代を担う人材の育成が不可欠です。今後は、産業界と学术界がそれぞれの強みを生かし、日本の風力発電のさらなる発展に向けて協働してまいります。」



JWPA について

一般社団法人日本風力発電協会（JWPA）は 2001 年に設立され、風力発電の普及・拡大を通じた持続可能な社会の実現を目的とする、約 450 の企業・団体に構成される業界団体です。

【本件に関する問い合わせ】

一般社団法人日本風力エネルギー学会 事務局長 玉田

Email: info@jwea.or.jp / Tel: (03)6284-2310

一般社団法人 日本風力発電協会 業務管理部 担当部長 宇佐美

Email: usami-mitsue@jwpa.jp / Tel: (03)6206-7196



左側：秋吉 優 代表理事（JWPA） 右側：永尾 徹 会長（JWEA）